

歴史に学ぼう！戦争のための教育はいらない！

多様な子どもたちがともに育つ教育を 市民の手に取りもどそう

7/29(日)

AM9:30～12:30

エルおおさか701

(京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m)

★同会場で13:00～14:30「交流のひろば」を開催します。

森友・加計問題での虚偽答弁・文書改ざん等安倍政権の国家の私物化の実態が次々と明らかになっていますが、安倍政権は国民のアキラメを狙い、居座って、改憲・「戦争する国」づくりを引き続き進めています。愛国心・公共の精神を教育目標に位置づけ、行政の教育介入を可能とした改悪教育基本法にそって、歴史を隠ぺい・歪曲し、「君が代」強制、教科書統制、道徳教科化、統一テストの数値目標化など、国と大企業のための教育支配を強めています。その下で、子どもたちは、強まる管理と競争の息苦しさの中におかれ、自分らしさ、居場所をますます奪われています。

真実を学ぶことができる教育、子どもの権利の尊重、学校に民主主義を実現することを要求して、多様な子どもたちがともに育つ教育を市民の手に取り戻していくことは、親や教職員など直接子どもにかかわる人はもちろん、今や、日本に生きるすべての市民の課題です。今年は、学ぶ主体である生徒の立場からの報告も準備中です。教育にかかわるいろんな立場の仲間からのいろんな報告を持ち寄り、今後具体的に取り組むことが見つかる分科会にしていきたいと考えています。

なお、同日 13:00～14:30、同じテーマで、「交流のひろば」を行います。実態・取り組みを持ち寄り、力が湧く交流会をめざします。報告したい方の連絡をお待ちしています。

関連企画 ◆ピースおおさか見学会◆

7月27日【金】AM10:00～12:00 (主催: 2018ZENKO in 大阪⑦分科会実行委員会 協力: 設置理念に則ったピースおおさかを取り戻す会)



少子化で子どもが減る一方で、不登校の子どもは増え続けています。文科省や自治体の不登校対策は、子どもを教室・学校から排除しながら、子どもの情報は児童生徒理解・教育支援シートという個別カルテで管理するものです。不登校特例校やネット上の塾など選択肢が増えたように見えても、学習内容を増やし、テストで子どもを競わせる学校のあり方は問われていません。子どもたちは休むこともできず、学校がつらい場所になっていないでしょうか？親や教育関係者だけでなく、市民一人ひとりが子どもの声を受けとめて、「おかしい」と声に出していくことが大切です。フリースペースからも報告します。(フリースペース ひまわり 小川)

